

令和6年度使用教科用図書（小学校・義務教育学校（前期課程））総合所見

令和5年8月18日（金）

呉市教科用図書（小学校・義務教育学校（前期課程））選定委員会

種目名〔国語〕 総合所見一覧

	東書	教出	光村
観点1 基礎・基本の 定着	<ul style="list-style-type: none"> 各単元の冒頭に、目標が示されている。中でも、「読むこと」の領域では、教材文の前に単元の導入ページがあり、目標と具体的なめあてが示されている。 「読むこと」の領域では、単元末において、目標とする力を身に付けるためのポイントが箇条書きで示されている。 情報の扱い方が関連する単元の前後に配置されている。 二次元コードにより、全学年の「ことばの広場」がWeb上に掲載されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 各単元の冒頭に、目標が示されている。 「読むこと」の領域では、単元末の「ここが大事」欄において、教材文を例示しながら、目標とする力を身に付けるためのポイントが短い文章で示されている。 情報の扱い方が巻末にまとめて示され、その巻に掲載の関連する単元が表記されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 各単元の冒頭に、目標が示されている。 「読むこと」の領域では、単元末の「たいせつ」欄において、目標とする力を身に付けるためのポイントが箇条書きで示されている。 情報の扱い方が関連する単元の前後に配置されている。 二次元コードにより、下学年で学んだ言葉がWeb上に掲載されている。
観点2 主体的に学 習に取り組 む工夫	<ul style="list-style-type: none"> 全学年で、実生活や他教科等と関連付けた題材やテーマが扱われている。 学習の過程がタイトルや文章で示されている。「読むこと」の単元の導入で、「見通す」として、イラストや写真で学習への興味・関心を引き出すよう工夫されている。「読むこと」の教材文の後に、「取り組む」「振り返る」の流れが示されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 全学年で、実生活や他教科等と関連付けた題材やテーマが扱われている。 学習の過程がタイトルや文章で示されている。「読むこと」の教材文の後に、「たしかめよう」「くわしくよもう」「まとめよう」「つたえあおう」の流れが示されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 全学年で、実生活や他教科等と関連付けた題材やテーマが扱われている。 学習の過程がタイトルや文章で示されている。「読むこと」の手引きの最初に、「問いをもとう」が示され、目標につなげている。「読むこと」の教材文の後に、「とらえよう」「ふかめよう」「まとめよう」「ひろげよう」の流れが示されている。
観点3 内容の構成・ 配列・分量	<ul style="list-style-type: none"> 3領域と知識・技能に係る各単元の分量が適切である。領域を有機的に関連させて複合単元が設定されている学年がある。 「読むこと」の単元と「書くこと」の単元の間、小単元「情報のとびら」を配置し、両単元を関連させる学習が設定されている。 伝統的な言語文化に関する単元では、学習指導要領に対応した教材が取り上げられている。 	<ul style="list-style-type: none"> 3領域と知識・技能に係る各単元の分量が適切である。複数の領域を組み合わせて展開することのできる単元が配列されている学年がある。 第3学年以上には、「読むこと」の単元の1つにおいて、教材文を読む際の視点に気付くための導入教材が配置されている。 伝統的な言語文化に関する単元では、学習指導要領に対応した教材が取り上げられている。 	<ul style="list-style-type: none"> 3領域と知識・技能に係る各単元の分量が適切である。複数の領域を組み合わせて展開することのできる単元が配列されている学年がある。 第3学年以上には、「読むこと」の単元の1つにおいて、教材文を読む際の視点に気付くための導入教材〔練習〕が配置されている。 伝統的な言語文化に関する単元では、学習指導要領に対応した教材が取り上げられている。
観点4 内容の表現・ 表記	<ul style="list-style-type: none"> 巻頭には、第2学年以上で「国語の学習の進め方」として「思い出そう」「見通す」「取り組む」「振り返る」「生かそう」という学習過程が示されている。 第2学年以上の巻頭に、3領域に分け、各単元で身に付けたい力が一覧で示されている。 第3学年以上で、前学年の学習の振り返りが巻末に示されている。 新聞記事を読み比べ、記事と写真の関係を考えさせたり、書き手の意図と結び付けて考えさせたりする記述がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 巻頭には、学習の進め方は示されていないが、各単元の前ページのページに、学習過程を示したページがある。 全学年の巻頭に、3領域に分け、各単元で身に付けたい力が一覧で示されている。 前学年の学習の振り返りはない。 説明文と資料を読んで、自分の考えをはっきりさせるための、意見と根拠（もととなる資料）が合っているか考えさせる記述がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 巻頭には、第2学年以上で「国語の学びを見わたそう」として「学習や生活の中で」「見通しをもつ」「問いをもつ」「話す・聞く」「書く」「読む」「ふりかえる」「学習や生活にいかす」という学習過程が示されている。 第2学年以上の巻頭に、3領域に分け、各単元で身に付けたい力、学習用語等が一覧で示されている。 前学年または当該学年の上巻で学んだことを、当該学年で学ぶことの下段に、領域ごとに対比させる形で示されている。 文章と図表やグラフ、写真との関わりや、資料の効果を筆者の立場から考えさせたり読み手の立場から考えさせたりする記述がある。
観点5 言語活動の 充実	<ul style="list-style-type: none"> 話合いのテーマや議題は、日常生活や学校生活に関わる話題が示されている。グループやクラス全体での話合いが主に扱われている。役割として司会、参加者、提案者が示されている。 全学年で、図書館や地域の図書館等の利用の仕方やその機能を活用した学習が取り上げられている。第6学年で「社会教育施設へ行こう」が設定されている。 読書記録については、第1～4学年で「読書記録カード」、第5、6学年で「読書・情報記録カード」の一部が例示されている。また、二次元コードにより、カード全体の様式例がWeb上に掲載されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 話合いのテーマや議題は、日常生活や学校生活に関わる話題が示されている。グループやクラス全体での話合い、ミニディベート、パネルディスカッション、役割として司会、記録、発言者、黒板記録係、ノート記録係、提案者、パネリスト、参加者等が示されている。 第1～5学年で小単元として図書館の利活用が設定されている。第6学年で「地域の施設を活用しよう」が設定されている。 読書記録については、第2学年～第6学年で、二次元コードにより、読書履歴カードの様式例がWeb上に掲載されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 話合いのテーマや議題は、日常生活や学校生活に関わる話題が示されている。班、グループ、クラス全体での話合い、役割として司会、記録、時間係、提案者、参加者が示されている。 第1～5学年で小単元として図書館の利活用が設定されている。第6学年で「公共図書館を活用しよう」が設定されている。 読書記録については、全学年で、記録カードの記入例が示されている。

種目名〔書写〕 総合所見一覧

	東書	教出	光村
観点1 基礎・基本の 定着	<ul style="list-style-type: none"> 単元の目標は、課題を見つけるための活動を「見つけよう」のマークで示し、呼びかける形で示されている。 「正しい姿勢」「点画の書き方」「用具の扱い方」等が写真とイラストで示されている。初めて毛筆を学習する第3学年では、見開き2ページで、用具の置き方や用具のかたづけ方が示されている。 毛筆で立って書くとき・床の上で書くときの姿勢も写真で示されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 単元の目標は、全学年でめあてと明記し、「～気をつけて書こう。」と示されている。 「正しい姿勢」「点画の書き方」「用具の扱い方」等が写真とイラストで示されている。初めて毛筆を学習する第3学年では、用具の扱い方やかたづけ方が写真と文字で丁寧に示されている。 毛筆で立って書くとき・床の上で書くとき・パソコンやタブレットを使うときの姿勢、バインダーで字を書くときの手の置き方も写真やイラストで示されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 単元の目標は、第3学年以上でねらいと明記し、「～書こう。」等と示されている。 「正しい姿勢」「点画の書き方」「用具の扱い方」等が写真とイラストで示されている。初めて毛筆を学習する第3学年では、用具の置き方が見開き2ページを使って写真で大きく示されている。 毛筆で立って書くとき・床の上で書くとき・タブレットを使うときの姿勢も写真で示されている。
観点2 主体的に学 習に取り組 む工夫	<ul style="list-style-type: none"> 学習過程が「見つけよう」「たしかめよう」「生かそう」「ふり返ろう」「生活に広げよう」と示されている。各過程には数字で番号が付され、児童が学習の見通しをもちやすくなる工夫がされている。 Web上で動画視聴ができる二次元コードを記載しており、書く際のポイントや気を付けることを確かめて書くことができるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習過程が「つかむ・考える」「書く・たしかめる」「ふり返る」「生かす・広げる」と示されている。 Web上で動画視聴ができる二次元コードを記載しており、書く際のポイントや気を付けることを確かめて書くことができるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習過程が「考えよう」「確かめよう」「生かそう」と示されている。 Web上で動画視聴ができる二次元コードを記載しており、書く際のポイントや気を付けることを確かめて書くことができるよう工夫されている。
観点3 内容の構成・ 配列・分量	<ul style="list-style-type: none"> 硬筆教材は全学年に、毛筆教材は第3学年以上にバランスよく位置付けられている。 二次元コード数が全学年でバランスよくある。 全学年で書写の歴史や文字文化に関する資料等の内容が掲載されている。第5学年では海外の文字文化に関する資料が掲載されていることに加え、第6学年では、教材として漢詩、漢文も扱われている。 第2学年以上で伝統的な言語文化に親しむことができるように、多様な種類の内容が掲載されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 硬筆教材は全学年に、毛筆教材は第3学年以上にバランスよく位置付けられている。 第2学年で硬筆記入欄のページ、二次元コード数が少ない。 全学年で書写の歴史や文字文化に関する資料等の内容が掲載されている。第5、6学年では海外の文字文化に関する資料が掲載されている。 第2学年以上で伝統的な言語文化に親しむことができるように、多様な種類の内容が掲載されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 硬筆教材は全学年に、毛筆教材は第3学年以上にバランスよく位置付けられている。 二次元コード数が全学年で多い。 全学年で書写の歴史や文字文化に関する資料等の内容が掲載されている。第5学年で「手書き文字」と「活字」の違いについて紹介されている。 第3学年以上で伝統的な言語文化に親しむことができるように、ことわざ、俳句、古文の内容が掲載されている。
観点4 内容の表現・ 表記	<ul style="list-style-type: none"> 筆順を表す数字が文字の色とは異なる色で示されている。 筆順のきまりが矢印で示してある。さらに、筆順のきまりに当たる部分の色を変えて示してある。 下部分に上段で取り上げた漢字の書き込み欄が設けられている。 同じ原則で書く漢字が複数例示されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 筆順を表す数字が示されている。 筆順が矢印で示してある。筆順のきまりに当たる部分の筆順を、黒数字で示してある。 上段で取り上げた漢字の一部の筆順が黒数字で示されている。 同じ原則で書く漢字や、カタカナと同じ原則で書く漢字が例示されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 筆順毎に異なる色で示してある。 筆順のきまりが矢印で示してある。さらに、筆順のきまりに当たる部分の色を濃くして示してある。 下部分に上段で取り上げた漢字の書き込み欄が設けられている。 同じ原則で書く漢字が1つ例示されている。
観点5 言語活動の 充実	<ul style="list-style-type: none"> 学習した内容を、他教科や日常生活に生かすことができるよう、「生活に広げよう」のページで、インタビューのメモの取り方や発表のためのポスターの書き方等の具体が示されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習した内容を、他教科や日常生活に生かすことができるよう、「レッツ・トライ」「書いて伝え合おう」のページで、話合いのメモの取り方や校外学習のリーフレット等の書き方の具体が示されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習した内容を、他教科や日常生活に生かすことができるよう、「書写広げたい」のページで新聞やポスター等の書き方の具体が示されている。

種目名〔社会〕 総合所見一覧

	東書	教出	日文
<p>観点1 基礎・基本の定着</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・見開きごとに、1時間ごとの学習問題を端的にタイトルとして示している。「つかむ」「調べる」「まとめる」等の学習過程が示されており、児童に学習の進め方を意識させやすい。 ・日本の位置や領土や歴史上の人物等についての理解が深まる説明や47都道府県についての理解を定着させる学習方法が掲載されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・1時間ごとの学習問題を端的にタイトルにして示している。「つかむ」「調べる」「まとめる」等の学習過程が示されており、児童に学習の進め方を意識させやすい。 ・日本の位置や領土や歴史上の人物等についての理解が深まる説明や47都道府県についての理解を定着させる学習方法が掲載されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・見開きごとに、1時間ごとの学習問題を端的にタイトルとして示している。 ・日本の位置や領土や歴史上の人物等についての理解が深まる説明や47都道府県についての理解を定着させる説明が掲載されている。
<p>観点2 主体的に学習に取り組む工夫</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・大単元の導入において、写真やイラスト等を効果的に提示し、学習への興味・関心を高める工夫が多い。 ・複数の学年において、複数のページにわたって広島県を題材とした内容が豊富に記載されており、主体的な学習を促す工夫がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・大単元の導入において、写真やイラスト等を効果的に提示し、学習への興味・関心を高める工夫が多い。 ・複数の学年において、複数ページにわたって広島県を題材とした内容が記載されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・大単元の導入において、写真やイラスト等を効果的に提示し、学習への興味・関心を高める工夫が多い。 ・複数の学年において、複数ページにわたって広島県を題材とした内容が記載されている。
<p>観点3 内容の構成・配列・分量</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学習指導要領に沿って単元が構成され、単元ごとの分量もバランスがとれている。 ・大単元ごとに補充的・発展的教材が豊富に掲載されている。 ・自然災害に関する学習において、ねらいに沿って構成されている。ハザードマップ等、災害に備える工夫が紹介されている。さらに、マイ・タイムラインの作成が取り上げられ、児童の防災意識の高まりに効果が期待できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習指導要領に沿って単元が構成され、単元ごとの分量もバランスがとれている。 ・大単元ごとに補充的・発展的教材が掲載されている。 ・自然災害に関する学習において、ねらいに沿って構成されている。ハザードマップ等、災害に備える工夫が紹介されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習指導要領に沿って単元が構成され、単元ごとの分量もバランスがとれている。 ・大単元ごとに補充的・発展的教材が掲載されている。 ・自然災害に関する学習において、ねらいに沿って構成されている。ハザードマップ等、災害に備える工夫が紹介されている。
<p>観点4 内容の表現・表記</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・本文記述と適切な関連付けがされたグラフ、写真、地図等が豊富に配置されている。 ・社会的な見方・考え方を働かせる4つの視点・方法を示している。 ・ユニバーサルデザインフォントを使用するとともに、グラフに文字や数値を入れ、データごとに色を変える等、分かりやすいデザインを採用している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本文記述と適切な関連付けがされたグラフ、写真、地図等が配置されている。 ・「学びのてびき」を3つの観点に分け、場面に応じた学習方法を示している。 ・ユニバーサルデザインフォントを使用するとともに、グラフに文字や数値を入れ、データごとに色を変える等、分かりやすいデザインを採用している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本文記述と適切な関連付けがされたグラフ、写真、地図等が豊富に配置されている。 ・「見方・考え方」により、社会的な見方・考え方を働かせる3つの視点・方法を示している。 ・ユニバーサルデザインフォントを使用するとともに、グラフに文字や数値を入れ、データごとに色を変える等、分かりやすいデザインを採用している。
<p>観点5 言語活動の充実</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・まとめ方の種類や具体例及び話し合いや説明の活動を促す工夫や具体例が豊富に示されており、言語活動の充実に向けた学習活動の参考にしやすい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・まとめ方の種類や具体例及び話し合いや説明の活動を促す工夫や具体例が豊富に示されており、言語活動の充実に向けた学習活動の参考にしやすい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・まとめ方の種類や具体例及び話し合いや説明の活動を促す工夫や具体例が豊富に示されており、言語活動の充実に向けた学習活動の参考にしやすい。

種目名〔地図〕 総合所見一覧

	東書	帝国
観点1 基礎・基本の定着	<ul style="list-style-type: none"> ・方位、地図記号、凡例、縮尺の見方、土地の高さの見方について、イラストを使って説明されており、二次元コードを使って、白地図をダウンロードしたり、動画を視聴したりできるように工夫されている。 ・我が国の地理的環境や歴史的事象及び国際理解に関する学習への活用に向けて、イラストや写真等が「日本とそのまわり」の地図、資料地図、世界の各地方図等において記載されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・方位、地図記号、土地利用の見方、凡例、土地の使われ方、陸の高さの見方、索引の使い方、縮尺の仕組みと距離の求め方について説明されており、二次元コードを使って各都道府県のテーマごとの地図や日本や世界の統計資料を閲覧したり、動画を視聴したりできるように工夫されている。 ・我が国の地理的環境や歴史的事象及び国際理解に関する学習への活用に向けて、イラストや写真等が「日本の領土とそのまわり」の地図、資料図、世界の各地方図等において記載されている。
観点2 主体的に学習に取り組む工夫	<ul style="list-style-type: none"> ・全般にわたって、キャラクターの吹き出しで地図活用の手がかりやその土地の様子等が紹介されたり、課題が提示されたりしているほか、「ホップステップマップでジャンプ」で地図への興味・関心を高める工夫がされている。 ・「中国地方」の地図の中に、呉市の地名等が掲載されている。 ・キャラクターの吹き出しで作業的な学習を促す言葉が提示されたり、作業や地図に書かれている情報を読み取る問いを3段階で設定している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・全般にわたって、キャラクターの吹き出しで地図活用のポイントやその土地の様子等について紹介されたり課題が提示されたりしているほか、「地図マスターへの道」で地図への興味・関心を高める工夫がされている。 ・「瀬戸内海周辺の地図」の中に、呉市の地名や施設、特産品が詳しく掲載されており、児童の興味・関心が高まる。 ・キャラクターの吹き出しで作業的な学習を促す言葉が提示されたり、地球儀で方位や距離等を調べる方法が掲載されたりしている。 ・各地の防災の取組や防災マップの例を示しながら、防災マップ作りの手順が掲載されている。
観点3 内容の構成・配列・分量	<ul style="list-style-type: none"> ・日本とその周りを見渡す地図に始まり、日本の地方図と都市圏図、世界全図、世界の各地方図、資料地図、統計表、索引と系統的に配列されている。 ・陸の高さや海の深さが地図に応じて細かく色分けされており（最大17段階）、土地利用も市街地、工業地等が最大7種類で示されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日本の複数の地方を広く見渡す地図に始まり、日本とその周りを見渡す地図、日本の地方図と都市圏図、世界全図、世界の各地方図、資料図、統計、索引と系統的に配列されている。 ・陸の高さや海の深さが地図に応じて細かく色分けされており（最大13段階）、土地利用も商業地、住宅地等が最大8種類で示されている。
観点4 内容の表現・表記	<ul style="list-style-type: none"> ・ユニバーサルデザインフォントが使用され、文字の視認性を高めるために、白色で縁取りされている。 ・円グラフと帯グラフでは、グラフに文字や数値を入れて表記するとともに、棒グラフも含め、視認性を高めるために、一部の文字を太字にしており、視覚的に分かりやすい表示への工夫が見られる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ユニバーサルデザインフォントが使用され、文字の視認性を高めるために、縁取りされている。 ・円グラフと帯グラフでは、グラフに文字や数値を入れて表記している。
観点5 言語活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・キャラクターの吹き出しで具体的な観察・調査方法や調べる視点が掲載されていたり、「ホップステップマップでジャンプ」で資料活用の仕方が示されたりしている。 ・地図を活用した表現の例として、自然災害のページに自分の地域のハザードマップで確認する点について掲載されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・キャラクターの吹き出しで具体的な観察・調査方法が掲載されていたり、「地図マスターへの道」で資料活用の仕方が示されたりしている。 ・地図を活用した表現の例として、「防災マップづくり」で、地図を使ったまとめ方のヒントや手順を示すとともに、地図の作品の例や表現する活動の例も掲載されており、学習活動の参考にしやすい。

	東書	大日本	学図	教出	啓林館	日文
観点1 基礎・基本 の定着	・スパイラルに取り扱われている内容について、練習問題がない単元がある。	・スパイラルに取り扱われている内容について、練習問題数がどの単元においても適量提示されている。	・スパイラルに取り扱われている内容について、練習問題数がどの単元においても適量提示されている。	・スパイラルに取り扱われている内容について、練習問題がない単元がある。	・スパイラルに取り扱われている内容について、練習問題数がどの単元においても適量提示されている。	・スパイラルに取り扱われている内容について、練習問題がない単元がある。
観点2 主体的に学 習に取り組 む工夫	・問題解決までの過程で、児童の思考を深めるための発問やめあてが示されている。 ・具体的な体験を伴う学習が適切に取り扱われている。具体的な体験と関連付けためあてが示されている。 ・特設ページを設けたり、学習指導要領に例示された単元で体験できたりするなど、プログラミングの体験が適切に設定されている。	・問題解決までの過程で、児童の思考を深めるための発問やめあてが示されている。 ・具体的な体験を伴う学習が適切に取り扱われている。具体的な体験と関連付けためあてが示されている。 ・特設ページを設けたり、学習指導要領に例示された単元で体験できたりするなど、プログラミングの体験が適切に設定されている。また、全学年においてプログラミングを体験できるようになっている。	・問題解決までの過程で、児童の思考を深めるための発問やめあてが示されている。 ・具体的な体験を伴う学習が適切に取り扱われている。具体的な体験と関連付けためあてが示されている。 ・特設ページを設けたり、学習指導要領に例示された単元で体験できたりするなど、プログラミングの体験が適切に設定されている。また、全学年においてプログラミングを体験できるようになっている。	・問題解決までの過程で、児童の思考を深めるための発問やめあてが示されている。 ・具体的な体験を伴う学習が適切に取り扱われている。 ・特設ページを設けたり、学習指導要領に例示された単元で体験できたりするなど、プログラミングの体験が適切に設定されている。	・児童の思考の流れを考慮した題材が単元の導入で提示されている。既習内容からのつながりで、問題解決に取り組むことができ。また、問題解決までの過程で、児童の思考を深めるための発問やめあてが示されている。 ・具体的な体験を伴う学習が適切に取り扱われている。具体的な体験と関連付けためあてが示されている。 ・特設ページを設けたり、学習指導要領に例示された単元で体験できたりするなど、プログラミングの体験が適切に設定されている。また、全学年においてプログラミングを体験できるようになっている。	・問題解決までの過程で、児童の思考を深めるための発問やめあてが示されている。 ・具体的な体験を伴う学習が適切に取り扱われている。具体的な体験と関連付けためあてが示されている。 ・特設ページを設けたり、学習指導要領に例示された単元で体験できたりするなど、プログラミングの体験が適切に設定されている。また、全学年においてプログラミングを体験できるようになっている。
観点3 内容の構成・ 配列・分量	・中学校へつながる内容にマークがつけられ、中学校の学習内容が示されている。	・中学校へつながる既習内容が巻末に配置され、続けて中学校の学習内容が示されている。	・中学校へつながる内容にマークがつけられ、別冊でも中学校の学習内容が示されている。	・中学校（高等学校）へつながる内容にマークがつけられ、巻末に中学校の学習内容が示されている。	・中学校（高等学校）へつながる内容にマークがつけられ、巻末には、中学校の学習内容に加え、算数や数学が活用されている職業の例が示されている。	・中学校（高等学校）へつながる内容にマークがつけられ、巻末に中学校の学習内容が示されている。
観点4 内容の表現・ 表記	・表紙裏にあるURLや二次元コードからコンテンツにアクセスでき、対応する箇所にDマークが豊富に示されている。	・最初のページにあるURLや二次元コードからコンテンツにアクセスでき、対応する箇所にデジタルコンテンツマークが豊富に示されている。	・最初のページにあるURLや二次元コードからコンテンツにアクセスでき、対応する箇所にデジタルコンテンツマークが示されている。	・最初のページにある二次元コードからコンテンツにアクセスでき、対応する箇所にリンクマークが示されている。	・対応する箇所に示されている二次元コードが全学年に豊富にあり、どの学年においても多数取り組むことができる。	・目次にあるURLや二次元コードからコンテンツにアクセスでき、対応する箇所に二次元コードが示されている。
観点5 言語活動の 充実	・数学的な表現の方法を用いて、説明したり話し合ったりする活動の流れが具体的に示されている。 ・特設ページを設け、第2学年以上で、ノート指導のポイントが示され、コンピューターを使って考えたときの記載例も挙げられている。	・数学的な表現の方法を用いて、説明したり話し合ったりする活動の流れが具体的に示されている。 ・特設ページを設け、全学年、ノート指導のポイントが示され、記載例が挙げられている。	・数学的な表現の方法を用いて、説明したり話し合ったりする活動の流れが具体的に示されている。 ・特設ページを設け、第2学年以上、ノート指導のポイントが示され、記載例が挙げられている。	・数学的な表現の方法を用いて、説明したり話し合ったりする活動の流れが具体的に示されている。 ・特設ページを設け、第2学年以上で、ノート指導のポイントが細かく示され、コンピューターを使って考えたときの記載例も挙げられている。	・数学的な表現の方法を用いて、説明したり話し合ったりする活動の流れが具体的に示されている。 ・特設ページを設け、第2学年以上で、ノート指導のポイントが示され、記載例が挙げられている。	・数学的な表現の方法を用いて、説明したり話し合ったりする活動の流れが具体的に示されている。 ・特設ページを設け、全学年、ノート指導のポイントが示され、記載例が挙げられている。

種目名〔理科〕 総合所見一覧

	東書	大日本	学図	教出	信教	啓林館
観点1 基礎・基本の 定着	<ul style="list-style-type: none"> 問題をつかむための活動「レッツトライ！」が設けられ、呼び掛けの形で問題等が提示されている。 単元末に「ふりかえろう」が設けられ、学習内容がまとめられている。 	<ul style="list-style-type: none"> 生活や自然の中での事物・現象の写真が示されており、呼び掛けの形で問題を見いださせている。 単元末に学習内容の定着を図るための「たしかめよう」や「学んだことを生かそう」が設けられている。 	<ul style="list-style-type: none"> 呼び掛けや問い掛けの形等で問題が提示されている。また、イラスト等を用いた問い掛けの形で問題が提示されている。 単元末に学習内容の定着を図るための「ふりかえろう」や、単元によっては「活用 学びを生かそう」が設けられている。 	<ul style="list-style-type: none"> 単元の冒頭で、イラストを用いた問い掛けの形で問題が提示されている。また、既習事項や生活の中での事象を想起させている。 単元末に「ふり返ろう」が設けられ、学習内容がまとめられるとともに、「新しく学習した言葉」が示されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 教科書見本がないため分からない。 	<ul style="list-style-type: none"> 呼び掛けや問い掛けの形等で問題が提示されている。また、既習事項や生活の中での事象を想起させている。 単元末に「ふり返ろう まとめノート」が設けられ、学習内容がまとめられるとともに、「新しく学習した言葉」が示されている。児童が作成したノート風に記載されており、児童にとって学習内容のまとめ方のイメージをもちやすい。
観点2 主体的に学 習に取り組 む工夫	<ul style="list-style-type: none"> 問題解決の過程がタイトルや文章で示してある。 変える条件、変えない条件を区別して条件制御の視点を示すとともに、表中に結果の見通しを位置付けている。(例：第5学年「植物の発芽と成長」) 児童が結果の見通しをもってから実験を開始することを促すことで、問題解決の力の育成に効果が期待できる。 	<ul style="list-style-type: none"> 問題解決の過程がタイトルや文章で示してある。 変える条件、変えない条件を区別して条件制御の視点を示すとともに、表中に実験の結果を位置付けている。(例：第5学年「植物の発芽と成長」) 	<ul style="list-style-type: none"> 問題解決の過程がタイトルや文章で示してある。 問題解決の過程に沿ったノート記述例を示し、調べる条件、そろえる条件を区分して条件制御の視点を示すとともに、表中に結果の予想を位置付けている。(例：第5学年「植物の発芽と成長」) 児童が結果の予想をもってから実験を開始することを促すことで、問題解決の力の育成に効果が期待できる。 	<ul style="list-style-type: none"> 問題解決の過程がタイトルや文章で示してある。 問題解決の過程に沿ったノート記述例を示す中で、変える条件、同じにする条件を区分して条件制御の視点を示している。(例：第5学年「植物の発芽と成長」) 	<ul style="list-style-type: none"> 教科書見本がないため分からない。 	<ul style="list-style-type: none"> 問題解決の過程がタイトルや文章で示してある。 変える条件、同じ条件を区分して条件制御の視点を示すとともに、表中に予想される結果、さらに実際に得られた結果の両方を位置付けている。(例：第5学年「植物の発芽と成長」) 児童が予想した結果と実際に得られた結果を比較して考察することができ、問題解決の力の育成に高い効果が期待できる。
観点3 内容の構成・ 配列・分量	<ul style="list-style-type: none"> A4判 防災・減災に関する内容の取扱いや、地震が起きたときの対処について記述されている。 第6学年「電気と私たちの暮らし」の学習で、人感センサーを使ったプログラミング体験例が紹介されている。 	<ul style="list-style-type: none"> A4判 防災マークで関係する箇所が示されたり、巻末資料に「災害に備えようブック」が掲載されたりしている。 第6学年「私たちの生活と電気」の単元で、発光ダイオードを使ったプログラミング体験例が紹介されている。 	<ul style="list-style-type: none"> AB判 防災マークで関係する箇所を示している。防災・減災に関する内容の取扱いや、地震が起きたときの対処について記述されている。 第6学年「電気と私たちの生活」の単元で、LEDを使ったプログラミング体験例が紹介されている。 	<ul style="list-style-type: none"> A4変形 防災・減災に関する内容の取扱いや、地震が起きたときの対処について記述されている。 第6学年「電気の利用」の単元で、ネコの絵やミニ信号機の動作シミュレーションを行うプログラミング体験例が紹介されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 教科書見本がないため分からない。 	<ul style="list-style-type: none"> AB判 防災・減災に関する内容の取扱いや、地震が起きたときの対処について記述されている。 第6学年「発電と電気の利用」の単元で、人感・明るさセンサーを使ったプログラミング体験例が紹介されている。
観点4 内容の表現・ 表記	<ul style="list-style-type: none"> 「思い出そう」のマークで他教科等での学習や暮らしとのつながりが示されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 観察や実験の「ポイント」を示すマークが設定されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 理科で育成したい「資質・能力」がキャラクターとして示されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 「思い出そう」のマークで既習事項や生活経験とのつながりが示されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 教科書見本がないため分からない。 	<ul style="list-style-type: none"> 「思い出そう」のマークで他教科等での学習や暮らしとのつながりが示されている。
観点5 言語活動の 充実	<ul style="list-style-type: none"> 学習過程において、児童の対話が見られる箇所がある。 巻末で発表や話し合いの際の留意点が見られる。発表や話し合いの際のポイントが時系列に沿って示されており、児童の主体的な説明や話し合いを促しやすい。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習過程において、机を挟んで話し合う形で児童の対話が見られる箇所がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習過程に関係付けられた項目において、児童の対話が見られる箇所がある。 巻末で説明の際の留意点が見られる。具体的な話し合いの場面例が見られ、児童はどのような話し合いをすればよいかイメージしやすい。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習過程において、教師と児童との対話が見られる箇所がある。 巻頭で説明の際の留意点が見られる。 	<ul style="list-style-type: none"> 教科書見本がないため分からない。 	<ul style="list-style-type: none"> 各学習過程において、机を挟んで話し合う形で児童の対話や、教師と児童との対話が見られる箇所がある。 巻末で「話すとき」「聞くとき」の留意点が見られる。話し合いの進め方の例が時系列に沿って整理されており、児童の主体的な説明や話し合いを促しやすい。

	東書	大日本	学図	教出	信教	光村	啓林館
観点1 基礎・基本 の定着	・コーナー、マークについて、病気の予防、交通安全、防犯、防災への意識を高めること等について示されている。	・コーナー、マークについて、病気の予防や、交通安全、防犯、防災への意識を高めること等について示されている。	・コーナー、マークについて、病気の予防や、交通安全、防犯、防災への意識を高めること等について示されている。	・コーナー、マークについて、病気の予防、交通安全、防犯、防災への意識を高めること等について示されている。	・実物がないため、調査・研究できない。	・コーナー、マークについて、病気の予防、交通安全、防犯、防災への意識を高めること等について示されている。	・コーナー、マークについて、病気の予防、交通安全、防犯、防災への意識を高めること等について示されている。
観点2 主体的に学習に取り組む工夫	・単元の導入ページでは、見開き2ページで、写真や児童及び先生の思いや発言、リード文等が示されている。 ・ワークシートの例として、ミニトマトの栽培記録が示されている。アサガオの栽培体験と比較した児童の記述が例示されており、これまでの学びを生かすことを促し、主体的な学びにつなげやすい。	・単元の導入ページでは、見開き2ページで、写真や児童及び先生の思いや発言、リード文、二次元コード等が示されている。 ・ワークシートの例としてイチゴ、えんどうまめ、キュウリ等の観察日記が示されている。	・単元の導入ページでは、見開き2ページで、写真や児童及び先生の思いや発言、リード文等が示されている。 ・ワークシートの例として、苦手な野菜を克服するためにナスを育てようとしたことや、お店の人から聞いた栽培方法をもとに育てた感想が示されている。	・単元の導入ページでは、見開き2ページで、写真や児童及び先生の思いや発言、リード文、フローチャートや二次元コード等が示されている。 ・ワークシートの例として、ミニトマトの栽培体験から、触って気付いたことや観察して分かったことが示されている。	・実物がないため、調査・研究できない。	・単元の導入ページでは、見開き2ページで、写真や児童及び先生の思いや発言、リード文等が示されている。 ・ワークシートの例として、ミニトマトの栽培体験から、触って気付いたことや栽培への意欲が示されている。	・単元の導入ページでは、見開き2ページで、写真や児童及び先生の思いや発言、リード文、二次元コード等が示されている。 ・ワークシートの例として、ミニトマトの栽培記録が示されている。野菜名人から聞いて分かったことや、栽培への意欲が示されている。
観点3 内容の構成・配列・分量	・季節や児童の発達段階に配慮して、配列されている。 ・幼児期の教育との円滑な接続に関する内容として、入学前の生活を思い出させる呼び掛け等が示される等、内容が充実している。	・季節や児童の発達段階に配慮して、配列されている。 ・幼児期の学びの様子がイラストで示されている。	・季節や児童の発達段階に配慮して、配列されている。 ・学校生活の様子が視覚的に示されている。	・季節や児童の発達段階に配慮して、配列されている。 ・幼児期の教育との円滑な接続に関する内容として、入学前の生活がイラストで複数ページにわたって示される等、内容が充実している。	・実物がないため、調査・研究できない。	・季節や児童の発達段階に配慮して、配列されている。 ・学校生活の様子が視覚的に示されている。	・季節や児童の発達段階に配慮して、配列されている。 ・幼児期の教育との円滑な接続に関する内容として、入学前の生活の様子が豊富な写真で示される等、内容が充実している。
観点4 内容の表現・表記	・キャラクターやマークにより、児童の思考や活動、安全・衛生上の留意事項等が示されている。また、他教科等との関連を示すマークが設けられている。	・キャラクターやマークにより、児童の思考や活動、安全・衛生上の留意事項等が示されている。	・キャラクターやマークにより、児童の思考や活動、安全・衛生上の留意事項等が示されている。	・キャラクターやマークにより、児童の思考や活動、安全・衛生上の留意事項等が示されている。	・実物がないため、調査・研究できない。	・キャラクターやマークにより、児童の思考や活動、安全・衛生上の留意事項等が示されている。	・キャラクターやマークにより、児童の思考や活動、安全・衛生上の留意事項等が示されている。また、他教科等との関連を示すマークが設けられている。
観点5 言語活動の充実	・ほとんどの単元で、考えや調べたことを伝え合う活動場面が設定しており、数多くの表現方法が示されている。	・考えや調べたことを伝え合う活動では、数多くの表現方法が示されている。	・考えや調べたことを伝え合う活動では、表現方法が示されている。	・考えや調べたことを伝え合う活動では、数多くの表現方法が示されている。	・実物がないため、調査・研究できない。	・考えや調べたことを伝え合う活動では、数多くの表現方法が示されている。	・ほとんどの単元で、考えや調べたことを伝え合う活動場面が設定しており、表現方法が示されている。

	教出	教芸
観点1 基礎・基本の 定着	<ul style="list-style-type: none"> ・題材名は、短い言葉でまとめて表記されている。(見開き左上に縦書きで記載) ・発声の扱いについては、「歌声」等のコーナーが、第3学年、第4学年、第6学年に設けられている。 その他、「スキルアップ」のコーナーの中で、歌う時のポイント等が示されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・題材名は、活動で表記されている。(見開き左側に縦書きで記載) ・発声の扱いについては、「歌声ルーム」のコーナーが全学年に設られ、段階を追って、分かりやすく掲載されている。
観点2 主体的に学 習に取り組 む工夫	<ul style="list-style-type: none"> ・音楽づくりの学習では、音や音楽を、音楽を形づくっている要素との働きの視点で捉えさせる工夫として、音遊びの活動が題材の導入に位置付けられている。また、学習手順が示されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・音楽づくりの学習では、音や音楽を、音楽を形づくっている要素との働きの視点で捉えさせる工夫として、音遊びの活動が題材の導入に位置付けられている。また、学習手順とともに、手順の中で音楽づくりの視点が複数提示されており、主体的な学習を促す工夫がある。
観点3 内容の構成・ 配列・分量	<ul style="list-style-type: none"> ・共通教材や季節に合わせて取り扱う歌曲は、「にっぽんのうた みんなのうた」として掲載されている。 ・和楽器は第2学年で「たいこ」が取り上げられているが、第3学年では扱いがなく、第4学年で「こと」「大だいこ」「しめだいこ」等、第5学年で「しの笛」「こきりこ」等、第6学年で「尺八」「三味線」「雅楽の楽器」等が取り上げられている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・共通教材は、「こころのうた」とし、季節や自然にまつわる歌は、「歌いつごう日本の歌」として掲載されている。 ・和楽器は第3学年で「長胴だいこ」「しめだいこ」「しのぶえ」等が、第4学年「こきりこ」「こと」「びんざさら」等、第5学年で「こと」「尺八」等、第6学年で「小鼓」「大鼓」「太棹三味線」等が取り上げられている。
観点4 内容の表現・ 表記	<ul style="list-style-type: none"> ・見開き右ページ上に音楽を形づくっている要素が「音楽のもと」として示されており、中学年・高学年には、メモ欄に児童が気付いた要素を書き込んで学習を深めることができるような工夫がされている。また、資料として巻末の『音楽のもと』まとめが掲載されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・見開き右ページ下に音楽を形づくっている要素が示されている。また、巻末の「ふり返りのページ」に、その学年で学習した内容や、音楽を形づくっている要素についてまとめ、関連するページが掲載されている。
観点5 言語活動の 充実	<ul style="list-style-type: none"> ・「まなびナビ(学び方を知ろう)」のマークを付け、「音楽に合わせて体を動かしたり、歩いたり、しきの動きをしたりしながらきいて、気がついたことや感じ取ったことを友達とお話ししよう。」と示されており、きき取ったことや音楽の感じ等を記入する表が掲載されている。音楽を聴いて気付いたことや感じ取ったことなど、様々な意見を共有する場面が設定されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「考える」のマークを付け、「アとイのかんじのちがいや気づいたことをメモし、友だちとつたえ合いましょう。」と示されており、具体的な視点によって、聴くねらいが分かりやすく、音楽を聴いて気付いたことや感じ取ったことなど、様々な意見を共有する場面も設定されている。また、「かんじたこと」と「気づいたこと」を書くための表が掲載されている。

種目名〔図画工作〕 総合所見一覧

	開隆堂	日文
観点1 基礎・基本 の定着	<ul style="list-style-type: none"> ・資質・能力の3点について、キャラクターと文で示され、単元における重点内容については、下線や色を変える等の工夫がある。 ・全ての題材で、キャラクターの吹き出しに〔共通事項〕を視点として思考させるためのコメントが示され、学びを促している。 ・全ての学年において巻末に、「学びの資料」が設けられ、学年に応じて必要な材料や用具の扱い方、技法、製作の過程、ICT機器の活用例等について、イラストや写真を用いて説明されている。ICT機器の活用例等がどの学年にも掲載されていることで、タブレット端末を用具の一つとしてとらえ、それぞれの学年に合った内容で活用することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・資質・能力の3点について、マークと文で示されている。「学びに向かう力、人間性等」については、例示がされている。 ・ほぼ全ての題材で、「特に大切なめあてのヒント」や「かん賞のヒント」に〔共通事項〕を視点として思考させるためのコメントが示され、学びを促している。 ・全ての学年において巻末に、「材料と用具のひきだし」を設け、学年に応じて必要な材料や用具の扱い方や技法について、イラストや写真を用いて説明されているが、ICT機器の活用例等については、表記されていない学年もある。
観点2 主体的に学 習に取り組 む工夫	<ul style="list-style-type: none"> ・各題材名の上又は下に、活動のきっかけとなる文が示されている。また、全ての題材において、タブレット端末等で導入動画が視聴できるように二次元コードが示されており、児童の興味や関心、意欲を高める工夫となっている。 ・表現と鑑賞の関連においては、作品の見方や考え方を深め、表現に生かすことができるよう、特設の「小さな美術館」が設けられ、身近な自然や造形物、日本や世界の美術作品などが取り扱われている。また、構図の似ている作品を比較させたり、表し方のちがいに着目させたりする文が示されており、児童が主体的に学習に取り組めるような工夫がされている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各題材名の下に、活動のきっかけとなる文が示されている。 ・表現と鑑賞の関連においては、作品の見方や考え方を深め、表現に生かすことができるよう、特設の「教科書美術館」が設けられ、伝統文化や他国の作品など多様な造形が取り扱われている。
観点3 内容の構成・ 配列・分量	<ul style="list-style-type: none"> ・全ての学年において題材を5項目に分類し、教材がバランス良く配列されている。項目の特徴としては、「絵」、「工作」が多い傾向にある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・全ての学年において題材を5項目に分類し、教材がバランス良く配列されている。項目の特徴としては、「絵」「工作」が多い傾向にあり、「鑑賞」も2～3の題材が設定されている。
観点4 内容の表現・ 表記	<ul style="list-style-type: none"> ・作品（図版番号あり）や造形活動について、発想・構想に関するヒントが吹き出し等で示されている。また、題名や作者の考え・感想が紹介されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・作品や造形活動について、発想・構想に関するヒント、題名や作者の考え・感想が吹き出し等で示されている。
観点5 言語活動の 充実	<ul style="list-style-type: none"> ・児童が関わり合う活動が取り扱われており、言語活動を促す文や児童の活動の様子が分かる写真や対話が示されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童が関わり合う活動が取り扱われており、言語活動を促す文や児童の活動の様子が分かる写真や対話が示されている。 ・各上巻には、作品を見て感じたことや考えたことを友だちと話し合う活動が示され、言語活動が充実するよう工夫がされている。

	東書	開隆堂
観点1 基礎・基本の定着	<ul style="list-style-type: none"> ・実生活にも役立つ問題解決的な学習を展開できるよう、題材は全て3ステップで構成され、ステップ1では課題を発見し、ステップ2では課題解決及び実践に取り組み、ステップ3では学習を振り返り新たな課題に気付くことができるよう工夫されている。 ・基本的な用語の確実な理解と獲得のため、家庭科で扱う重要語句が太字で表記されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・実生活にも役立つ問題解決的な学習を展開できるよう、題材は3ステップを基本として構成され、ステップ1では課題を発見し、ステップ2では課題解決及び実践に取り組み、ステップ3では学習を振り返り新たな課題に気付くことができるよう工夫されている。 ・基本的な用語の確実な理解と獲得のため、家庭科で扱う重要語句が太字で表記されるとともに、「家庭科でよく使われる用語」として巻末に示されている。
観点2 主体的に学習に取り組む工夫	<ul style="list-style-type: none"> ・各題材の初めのページのタイトル横に「家庭科の窓」マークが示されている。また、マークの隣にキャラクターの吹き出しで見方・考え方が具体的に示されており、「生活の営みに係る見方・考え方」を意識させる工夫がある。 ・学習指導要領「A 家族・家庭生活」の「(4) 家族・家庭生活についての課題と実践」に対応した内容が、いくつかの題材の学習後に学習したことを生かした実践例として掲載され、定期的実践につなげる工夫がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各題材の初めのページのタイトル左下に「生活の見方・考え方 4つの視点」マークが示されている。また、クローバーの葉を持ったキャラクターの吹き出しを用い、見方・考え方に気付かせる工夫がある。さらに、見方・考え方を図化したマークを配置し、それぞれの内容における見方・考え方が具体的に示されているページがあり、児童が「生活の営みに係る見方・考え方」をよりイメージしやすい工夫がある。 ・学習指導要領「A 家族・家庭生活」の「(4) 家族・家庭生活についての課題と実践」に対応した内容が、第5学年と第6学年の間の数ページに掲載され、第5学年の学習後に実践につなげる工夫がある。
観点3 内容の構成・配列・分量	<ul style="list-style-type: none"> ・単学年ごとに、学習の時期や季節を考えて題材が配列されている。 ・各教科等や中学校の学習内容との関連については、「ほかの教科の学習、中学校の学習との関わりを見てみよう。」として丸を重ねたマークを付し、教科等名、学年、単元概要が示されている。また、ページ番号の横に家庭科用語の英語表記と絵を示し、次ページのページ番号の横に日本語表記と絵が掲載され、各教科等との関連を意識させる工夫がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各学年のテーマのもと、学習の時期や季節を考えて題材が配列されている。また、初めて家庭科を学ぶ第5学年は、題材が細かく構成・配列され、スモールステップで学習を積み上げられるよう工夫されている。 ・各教科等の学習内容との関連については、「他教科での学習と関連する内容」として「関連マーク」を付し、教科等名、学年、単元概要が示されている。また、ページ番号の横に家庭科用語の日本語と英語の表記が掲載され、各教科等との関連を意識させる工夫がある。
観点4 内容の表現・表記	<ul style="list-style-type: none"> ・学習内容と関連した図・イラスト・写真等は、学習上参考となる資料等が主に「資料」のマーク等で示されている。 ・本文の書体は、ユニバーサルデザインフォントが使用されている。内容ごとに配色が統一され、見開き右側にインデックスとして題材番号が示されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習内容と関連した図・イラスト・写真等は、学習上参考となる資料等が主に「参考」のマーク等で示されている。また、タイトルの最初に「◎」のマークを付して、資料が掲載されている。 ・本文の書体は、ユニバーサルデザインフォントが使用されている。内容ごとに配色が統一され、見開き上部等を示すとともに、見開き右側にインデックスと内容が示されており、学習内容を児童に捉えさせやすい工夫がある。
観点5 言語活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・言語活動を取り入れた学習の示し方は、主に「活動」のマークで示されているところで、生活をよりよくするための方法を考えたり、説明したりする活動が豊富に取り上げられている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・言語活動を取り入れた学習の示し方は、主に「考えよう」「話し合おう」「やってみよう」のマークで示されているところで、生活をよりよくするための方法を考えたり、説明したりする活動が取り上げられている。

	東書	大日本	大修館	文教社	光文	学研
観点1 基礎・基本の 定着	<ul style="list-style-type: none"> ・けがの手当について、手当の方法の順序が番号で示され、イラストと言葉で分かりやすく説明されている。 ・自分でできる正しい手当の方法を調べさせることで理解を深める工夫がされているとともに、実習後に3段階で自己評価を記入する欄が設けられている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・けがの手当について、手当の方法がイラストと言葉で説明されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・けがの手当について、手当の仕方の順序が番号で示され、イラストと言葉で分かりやすく説明されている。 ・実習後に自由記述による自己評価をする欄が設けられている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・けがの手当について、手当の方法がイラストと言葉で説明されている。 ・自分でできる手当の方法を調べるよう促されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・けがの手当について、手当の方法の順序が番号で示され、イラストと言葉で分かりやすく説明されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・けがの手当について、手当の方法がイラストと言葉で説明されている。 ・実習後に自由記述による自己評価をする欄が設けられている。
観点2 主体的に学 習に取り組 む工夫	<ul style="list-style-type: none"> ・単元の見通しをもたせるための記述が掲載されるとともに、学習のイメージとゴール（目標）を図で示し、学習への見通しをもたせる工夫がされている。 ・振り返りでは、二次元コードによるワークシートが導入されており、学習内容ごとに3段階で自己評価する箇所と自由記述欄が設けられている。また、関連ページが示されているため、学習したことが確認しやすい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・単元の見通しをもたせるための記述・写真が掲載されている。 ・振り返りでは、学習内容ごとに3段階で自己評価する箇所と自由記述欄が設けられている。また、関連ページが示されているため、学習したことが確認しやすい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・単元の見通しをもたせるために、著名人へのインタビュー形式で、学習内容をイメージできるよう工夫されている。 ・振り返りでは、単元を3段階で自己評価する箇所、キーワードを選択し学習したことを確認する箇所、自分の生活に生かしたいことを選択し、その理由を記述する欄が設けられている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・単元の見通しをもたせるための記述・写真が掲載されている。 ・振り返りでは、〇〇宣言という自由記述欄が設けられている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・単元の見通しをもたせるために4コマ漫画で学習内容をイメージできるよう工夫されている。 ・振り返りでは、内容ごとにキーワードを選択し、学習したことを確認する箇所、単元を3段階で自己評価する箇所、自分の生活に生かしたいことを選択し、その理由を記述する欄が設けられている。また、関連ページが示されているため、学習したことが確認しやすい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・単元の見通しをもたせるための記述・写真が掲載されている。 ・振り返りでは、学習内容ごとに3段階で自己評価する箇所と「学習したことを伝える」「明日につながる」の自由記述欄が設けられている。
観点3 内容の構 成・配列・分 量	<ul style="list-style-type: none"> ・どの単元にも発展的な学習が設けられている。 ・巻末にも発展的な内容の取扱いがされている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・どの単元にも発展的な学習が設けられている。 ・巻末にも発展的な内容の取扱いがされている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・どの単元にも発展的な学習が設けられている。 ・巻末にも発展的な内容の取扱いがされている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・どの単元にも発展的な学習が設けられている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・どの単元にも発展的な学習が設けられている。 ・巻末等にも発展的な内容の取扱いがされている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・どの単元にも発展的な学習が設けられている。 ・巻末にも発展的な内容の取扱いがされている。
観点4 内容の表 現・表記	<ul style="list-style-type: none"> ・本文記述と関連付けたイラスト・写真・グラフ・図等の記載について、乳幼児期の手形と靴の写真を原寸大で掲載し、自らの成長に気付かせる工夫がされている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本文記述と関連付けたイラスト・写真・グラフ・図等の記載について、1才頃と4年生になった自分の手の大きさを比べる作業ページが設けられ、自らの成長に気付かせる工夫がされている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本文記述と関連付けたイラスト・写真・グラフ・図等の記載について、生まれて3か月の赤ちゃんの手を原寸大で掲載し、自らの成長に気付かせる工夫がされている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本文記述と関連付けたイラスト・写真・グラフ・図等の記載が設けられている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本文記述と関連付けたイラスト・写真・グラフ・図等の記載について、1才頃の手と足の写真を原寸大で掲載し、自らの成長に気付かせる工夫がされている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本文記述と関連付けたイラスト・写真・グラフ・図等の記載が設けられている。
観点5 言語活動の 充実	<ul style="list-style-type: none"> ・日常生活に活かすことを意図したものを含め、自分の考えを記入する欄の数は99である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日常生活に活かすことを意図したものを含め、自分の考えを記入する欄の数は68である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日常生活に活かすことを意図したものを含め、自分の考えを記入する欄の数は58である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日常生活に活かすことを意図したものを含め、自分の考えを記入する欄の数は35である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日常生活に活かすことを意図したものを含め、自分の考えを記入する欄の数は53である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日常生活に活かすことを意図したものを含め、自分の考えを記入する欄の数は129である。

	東書	開隆堂	三省堂	教出	光村	啓林館
観点1 基礎・基本 の定着	<ul style="list-style-type: none"> 各単元の冒頭に、学習目標と学習指導要領に関連した学習のめあてが提示されている。児童が見通しをもって学習に取り組みやすい。 2学年にわたり、文及び文構造に繰り返し触れる機会が設定されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 各単元の冒頭に、学習目標と、学習活動に沿った学習のめあてが提示されている。児童が見通しをもって学習に取り組みやすい。 2学年にわたり、文及び文構造に繰り返し触れる機会が多く設定されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 年間3回の大きな言語活動の目標」を示すとともに、各単元の冒頭に、単元における学習目標が提示されている。 2学年にわたり、文及び文構造に繰り返し触れる機会が設定されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 各単元の冒頭に、学習目標が提示されている。 2学年にわたり、文及び文構造に繰り返し触れる機会が設定されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 各単元の冒頭に、学習目標と学習活動に沿った学習のめあてが提示されている。児童が見通しをもって学習に取り組みやすい。 文及び文構造に触れる機会が設定されているが、少なめである。 	<ul style="list-style-type: none"> 各単元の冒頭に、学習目標と学習活動に沿った学習のめあてが提示されている。児童が見通しをもって学習に取り組みやすい。 2学年にわたり、文及び文構造に繰り返し触れる機会が設定されている。
観点2 主体的に学 習に取り組 む工夫	<ul style="list-style-type: none"> 見開きページを活用して、単元名、単元のゴールや学習のめあて、イラストや写真が掲載されている。また、二次元コードを活用し、単元終末の言語活動のモデル動画を視聴する活動が設定されており、児童がゴールイメージをもちやすい。 単元の3段階ごとに振り返りが設定されるとともに、年間3回の言語活動についても振り返りがある。 	<ul style="list-style-type: none"> 見開きページを活用して、単元名、単元のゴールや学習のめあてとともに、イラストや写真が掲載され、児童の興味・関心を高めている。 学習した単元ごとに振り返りが設定されるとともに、年間3回の言語活動が設定され、それまで学習したことについて振り返りがある。 	<ul style="list-style-type: none"> 見開きページを活用して、単元名、単元のゴールとともに、イラスト等が掲載され、児童の興味・関心を高めている。 学習した単元ごとに振り返りが設定されている。また、年間3回の大きな言語活動後の振り返りと、それまでの単元で学習したことについて振り返りがある。 	<ul style="list-style-type: none"> 見開きページを活用して、単元名、単元のゴールとともに、イラストや写真が掲載され、児童の興味・関心を高めている。 学習した単元ごとに振り返りが設定されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 見開きページを活用して、単元名、単元のゴールや学習のめあてとともに、イラストや写真が掲載され、児童の興味・関心を高めている。 学習した単元ごとに振り返りが設定されている。また、3つの「まとめ」の言語活動の振り返りが設定されるとともに、それまでの単元で学習したことについて振り返りがある。 	<ul style="list-style-type: none"> 見開きページを活用して、単元名、単元のゴールや学習のめあてとともに、イラストが掲載され、児童の興味・関心を高めている。 単元の3段階ごとに振り返りが設定されるとともに、単元末に単元全体の振り返りがある。
観点3 内容の構成・ 配列・分量	<ul style="list-style-type: none"> 言語活動が豊富で、5つの領域の言語活動がバランスよく、音声から文字へとスモールステップで配列されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 特に「聞く」「話す」の言語活動が豊富で、「読む」「書く」の学習は、スモールステップで行う構成となっている。 	<ul style="list-style-type: none"> 5つの領域の言語活動がバランスよく配列されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 音声から文字へと段階的な言語活動が設定されているが、言語活動が少なめである。 	<ul style="list-style-type: none"> 5つの領域の言語活動がバランスよく配列されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 特に「聞く」活動が多く設定されている。「読む」「書く」の言語活動が少なめである。
観点4 内容の表現・ 表記	<ul style="list-style-type: none"> 2年間を通して共通した人物が繰り返し登場している。また、5つの領域に関連した活動等の種類を示すマークやキャラクターが掲載されている。 巻末に絵カード等が添付されている。4線表記の単語辞典が別冊でついている。自分が調べた単語を書き込む欄に加え、二次元コードを活用し、紙面に掲載されていない単語を調べることもできる。 	<ul style="list-style-type: none"> 2年間を通して共通した人物が繰り返し登場している。また、5つの領域に関連した活動等の種類を示すマークや、ガイドキャラクターが掲載されている。 巻末に、絵カードやアルファベット表等が添付されている。4線表記の単語辞典が別冊でついている。自分が調べた単語を書き込む欄がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 2年間を通して共通した人物が繰り返し登場している。また、5つの領域に関連した活動等の種類を示すマークやキャラクターが掲載されている。 巻末に、絵カード等が添付されている。4線表記の単語辞典が別冊でついている。 	<ul style="list-style-type: none"> 2年間を通して共通した人物が繰り返し登場している。また、5つの領域に関連した活動等の種類を示すマークやキャラクターが掲載されている。 巻末に、歌、ジングル等が掲載されるとともに、絵カード等が添付されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 2年間を通して共通した人物が繰り返し登場している。また、5つの領域に関連した活動等の種類を示すマークが掲載されている。 巻末に、単語や文の書き方等が掲載されている。4線表記の単語辞典が別冊でついている。自分が調べた単語を書き込む欄がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 2年間を通して共通した人物が繰り返し登場している。また、5つの領域に関連した活動等の種類を示すマークやキャラクターが掲載されている。 巻末に、絵カード等が添付されている。
観点5 言語活動の 充実	<ul style="list-style-type: none"> 学校での学習や活動場面が取り上げられた単元が複数設定されており、言語活動の充実に向けた効果的な配列となっている。海外の学校へ場面変換するなど、英語を使った表現を促しやすい。 単元終末や年間3回の言語活動において、習得した知識及び技能を活用する言語活動がバランスよく設定されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 学校での学習や活動場面が取り上げられた単元が複数設定されており、言語活動の充実に向けた効果的な配列となっている。 単元終末や年間3回の言語活動において、習得した知識及び技能を活用する言語活動がバランスよく設定されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 学校での学習や活動場面が取り上げられた単元が設定されている。 単元終末に、習得した知識及び技能を活用する言語活動が設定されている。また、年間3回の言語活動では「話すこと〔発表〕」の活動が設定されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 学校での学習や活動場面が取り上げられた単元が設定されている。 単元終末に、習得した知識及び技能を活用する言語活動が設定されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 学校での学習や活動場面が取り上げられた単元が複数設定されており、言語活動の充実に向けた効果的な配列となっている。 単元終末や年間3回の言語活動において、習得した知識及び技能を活用する言語活動が設定されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 学校での学習や活動場面が取り上げられた単元が設定されているが少なめである。 単元終末や年間3回の言語活動において、習得した知識及び技能を活用する言語活動がバランスよく設定されている。

	東書	教出	光村	日文	光文	学研
観点1 基礎・基本 の定着	<ul style="list-style-type: none"> 学習の流れや学習活動とともに、第2学年以上は、ショートストーリーを基に話し合い活動が体験できる。また、学びを広げるために、デジタルコンテンツの利用方法が示されている。 中心発問と自己を見つめる発問に精選されているので、多様な学習展開が仕組める。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習の流れや学習活動とともに、学習に役立つ情報を見るための二次元コードやタブレットの活用方法等が示されている。 発問が、数多く示されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習の流れとともに、学習活動が示されている。 発問が、数多く示されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習の流れとともに、学習活動が示されている。 主題に関わる発問と中心発問、自己を見つめる発問に精選されているので、多様な学習展開が仕組める。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習の流れとともに、学習活動が示されている。 発問が、数多く示されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習の流れとともに、学習活動が示されている。 中心発問と自己を見つめる発問に精選されているので、多様な学習展開が仕組める。
観点2 主体的に学 習に取り組 む工夫	<ul style="list-style-type: none"> 問題解決的な学習ができる教材は、「どんな学びをするのかな？」で該当ページが示されるとともに、教材の終わりに学習過程の例が分かりやすく示されている。 体験的な学習ができる教材は、「えんじて考えよう」のページが設けられ、直前の教材に関連した体験的な学習として、イラストとともに発問等が示され、役割演技が促されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 問題解決的な学習ができる教材は、目次にマークを付けて示され、教材の終わりに、学習過程の例が示されている。 体験的な学習ができる教材は、「やってみよう」のコーナーが設けられ、直前の教材に関連した体験的な学習が促されるとともに、目次に「たいけん」マークが示されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 問題解決的な学習ができる教材は、教材の終わりに、学習過程の例が示されている。 体験的な学習ができる教材は、該当ページが目次に示されている。また、「えんじて考えよう」のページが設けられ、直前の教材に関連した体験的な学習として、イラストとともに発問等が示され、役割演技が促されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 問題解決的な学習ができる教材は、目次及び該当ページにマークを付けて示され、教材の終わりに、学習過程の例が分かりやすく示されている。 体験的な学習ができる教材は、マークが目次及び該当ページに示されている。また、「ぐっと深める」のページを設け、直前の教材に関連した体験的な学習として、イラストや写真とともに発問等が示され、役割演技を促している。 	<ul style="list-style-type: none"> 問題解決的な学習ができる教材は、巻頭及び該当ページにマークを付けて示され、教材の終わりに、学習過程の例が示されている。 体験的な学習ができるコラム「みんなでやってみよう！」が各学年1教材掲載されるとともに、マークが目次及び該当ページに示されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 問題解決的な学習ができる教材は、目次及び該当ページにマークを付けて示され、教材の終わりに、学習過程の例が分かりやすく示されている。 体験的な学習ができる教材は、該当ページが目次に、マークが該当ページに示されている。また、「心のパスポート」のページを設け、直前の教材に関連した体験的な学習として、イラストや発問等が示され、役割演技を促している。
観点3 内容の構 成・配列・ 分量	<ul style="list-style-type: none"> 判型はAB型。別冊はないので、ワークシートやノートが活用しやすい。 いじめ問題を扱う教材は、複数の教材等と扉ページの構成でユニット化され、効果的である。 	<ul style="list-style-type: none"> 判型はAB型。別冊はないので、ワークシートやノートが活用しやすい。 いじめ問題を扱う教材は、複数教材がユニット化され、効果的である。 	<ul style="list-style-type: none"> 判型はB5変型。別冊はないので、ワークシートやノートが活用しやすい。 いじめ問題を扱う教材は、複数教材とコラムの構成でユニット化され、効果的である。 	<ul style="list-style-type: none"> 判型はAB型。別冊があり、総ページが多い。 いじめ問題を扱う教材は、複数教材とコラムの構成でユニット化され、効果的である。 	<ul style="list-style-type: none"> 判型はAB型。別冊はないので、ワークシートやノートが活用しやすい。 いじめ問題を扱う教材は、複数の教材と扉ページの構成でユニット化され、効果的である。 	<ul style="list-style-type: none"> 判型はAB型。別冊はないので、ワークシートやノートが活用しやすい。 いじめ問題を扱う教材は、複数の内容項目の教材が特設ページとともに配置されている。
観点4 内容の表 現・表記	<ul style="list-style-type: none"> 巻頭では、教材が目次とは別に四つの視点で整理され、巻末には、学習の記録欄や関係するテーマ等が示された内容項目別教材一覧、「考えるためのツール」が掲載されている。 学習のねらいに沿ってマーク等が配置されている。すべての教材の冒頭にデジタルコンテンツにリンクする二次元コードが示されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 巻頭では、教材が目次とは別に四つの視点で整理され、巻末には、学習の記録欄やSDGsとの関連等が示された内容項目別教材一覧、資料が掲載されている。 学習のねらいに沿ってマーク等が配置されている。教材冒頭や教材の終わり等にWebサイトにリンクする二次元コードが示されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 巻頭には、教材が目次で示され、巻末には、学習の記録欄や現代的な課題等との関わり等が示された内容項目別教材一覧とともに、第3学年以上は付録として「学びの道工具箱」と日本の伝統文化等が掲載されている。 学習のねらいに沿ってマーク等が配置されている。教材によってはデジタルコンテンツにリンクする二次元コードが示されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 巻頭では、教材が目次で示され、巻末には、テーマ等が示された内容項目別教材一覧とともに、「見つけた！ここにも道徳」が掲載されている。 学習のねらいに沿ってマーク等が配置されている。すべての教材の冒頭にデジタルコンテンツにリンクする二次元コードが示されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 巻頭では、教材が目次で示され、巻末には、学習の記録欄や、現代的課題等が示された内容項目別教材一覧、「ことばのたからもの」が掲載されている。 学習のねらいに沿ってマーク等が配置されているが、やや多い。教材によってはデジタルコンテンツにリンクする二次元コードが示されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 巻頭には、教材が目次とは別に四つの視点で整理され、巻末には、学習の振り返り欄とともに、デジタルコンテンツ等が示された内容項目別教材一覧が掲載されている。 学習のねらいに沿ってマーク等が配置されている。教材によってはデジタルコンテンツにリンクする二次元コードが示されている。
観点5 言語活動の 充実	<ul style="list-style-type: none"> 巻頭で、第2学年以上においてミニ教材を用いて話し合う様子がイラストで示され、話し合い活動の参考にしやすい。 1年間の学習のまとめ欄がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 巻頭で、話し合いのポイントが示されている。 1時間ごとの自己評価欄があるとともに、1年間の学習のまとめ欄がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 巻頭で、話し合い活動の具体例等がイラストで示され、話し合い活動の参考にしやすい。 1時間ごとの自己評価欄や第5学年及び第6学年は学習のまとめ欄がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 巻頭で、全学年において二次元コードから話し合い活動の動画が視聴でき、話し合い活動の参考にしやすい。 1時間ごとの自己評価欄や学習のまとめ欄（3回分）がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 巻頭で、対話ツールを使った話し合いが掲載されている。 1時間ごとの自己評価欄や学習のまとめ欄とともに、1年間の学習のまとめ欄がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 巻頭で、話し合いのポイントが示されている。 1年間の学習のまとめ欄がある。